

事業番号	15 05 03	事業改善シート(25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検	
事業名	魅力ある高校づくり推進事業費				担当課	部局	教育委員会事務局		
						課・室	教学指導課		
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp			
	施策の総合的展開					実施期間	不明 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	・生徒の能力、適性、興味・関心の多様化と希望進路の多様化に対応するために、各高等学校は教育課程の弾力化を図り、県は、必要な非常勤講師を配置するとともに、ICT環境を充実させる。これにより、多様化したすべての生徒に対して、確かな学力を保障するとともに、個性を伸ばし、希望する進路を保障する。					
現状	○全ての学校で教育課程の弾力化が実施されているが、生徒及び進路の多様化に対応できる十分な非常勤講師の配置ができていない。そのため、生徒の個性を伸ばし、必要な学力を保障するための取組に限界が生じている。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)		【左記の説明、根拠法令等】			
	県民との協働による実施：検討中					
事業内容	① 成果目標(H25)					
	○学力実態調査(高2)での基礎学力定着度(正答率)H29年度:国語65.0%、数学60.0%、英語60.0%に向け、 <b>H25年度国語63.7%、数学59.1%、英語58.4%</b> を目標とする。					
	○コース、類型・選択制に関する意識調査の生徒満足度 <b>84.0%</b> を目標とする。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H25事業実績		H26
				(当初)	(決算)	(当初)
		教育課程改善事業費	直接	4,780	4,780	4,704
	コース制、類型・選択制の導入、探究活動・特別活動等の充実	直接	92,162	89,956	92,002	
	個別学習	直接	6,813	6,403	6,813	
	コンピュータ整備事業	直接	85,921	85,921	85,567	
	校内LAN・図書館DB推進事業(更新分30校を除く。)	直接	122,124	116,289		
	合計		311,800	303,349	189,086	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越	0	0	0	0
	当初予算	365,587	344,708	311,800	189,086
	補正予算			159,281	
	合計(A)	365,587	344,708	471,081	189,086
	国庫支出金	0	0	0	0
	県債	0	0	0	0
	その他( )	0	0	0	0
	一般財源	365,587	344,708	471,081	189,086
	決算額(B)	351,025	335,295	303,349	
概算職員数(人)	0.70	0.70	0.70	0.70	
概算人件費	5,781	5,781	5,781	5,781	
概算事業費(B(A)+C)	356,806	341,076	309,130	194,867	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26
		目標	成果	達成状況	
コース、類型・選択制生徒満足度	82.8%	84.0%	84.1%	達成	84.2%
県の学力実態調査(高2)における基礎学力定着度(正答率)	国64.1% 数61.3% 英60.8%	国63.7% 数59.1% 英58.4%	国65.5% 数61.6% 英60.9%	国 達成 数 達成 英 達成	国64.3% 数61.5% 英61.0%

目標に対する成果状況	コース、類型・選択制生徒満足度及び国語・数学・英語のいずれの教科の基礎学力の習得状況について、目標を達成できた。進学対策講座や基礎学力の確実な定着等に取り組み、学ぶ意欲や問題解決力の向上を目指し、伸びる力を一層伸ばしていく。
------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 新学習指導要領の全面実施が年次進行し、各高校の教育課程の編成にも新時代の学力向上に対応するための工夫が求められているので、引き続きの実施と充実が求められる事業である。 なお、平成25年度高校校内LAN更新校からデータセンターへの接続が始まったことから、平成25年度では当該事業に計上していた平成26年度から平成27年度更新校については一元的に管理するため「ITCを活用した確かな学力育成事業」に移行し実施していく。
--------------------	---